

2 これまでに実施した活動・今後実施予定の活動（個別センター）

札幌市男女共同参画センター
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」募金箱設置(4月20日～)ポスターの掲示と講演会収入の募金 <p>【講演会やセミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害と女性の人権に関するシンポジウム」(2012年1月頃)。札幌市より委託を受け企画、NPOと協働予定 ・全国女性会館協議会北海道・東北ブロック研修「震災時に男女共同参画センターが担う役割」(12月9日)
青森県男女共同参画センター アピオあおもり
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」募金箱設置(4月28日～) ・オープンカレッジにおける募金活動、参加者の茶菓代の寄付(7月18日) <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフちっちゃな図書館プロジェクトへ収集絵本の寄付(4月1日) ・アピオあおもり児童図書室保管絵本の寄付(4月2日) <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災関係相談窓口開設をホームページにアップ(3月14日) ・東奥日報「被災者支援と生活情報」に相談事業の案内掲載(3月16日) ・全国女性会館協議会ウェブサイト「災害と女性センター」に協力、情報発信(3月21日) ・NHK青森ローカルニュースにて相談体制についての紹介(3月22日) ・NHK青森データ放送にて、相談窓口の紹介(3月24日) ・震災関連情報ファイルの作成(3月31日) ・情報ライブラリーテーマ展示「男女共同参画の視点からみる防災」(3月20日～4月30日) ・震災関係情報ボードの設置(4月～) ・青森県内市町村男女共同参画担当者へメルマガ文庫で防災に関する図書リストを配信(6月16日) ・児童図書室テーマ展示「夏休み特集・災害について考えよう！」(7月25日～8月末) ・情報誌「クローバーあおもり (特集)防災・復興に男女共同参画の視点を」発行(8月25日) <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災関係相談窓口の開設(3月14日) <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前大学キャリア教育「社会と私 男女共同参画」において、震災・復興と男女共同参画の視

点を中心に講義(7月26日)

- ・母親・父親の就職応援講座の受講生枠に東日本大震災被災者の女性を含む
- ・清原桂子兵庫県理事ほかによる特別公開講座「教訓を生かす・つなげる～震災・復興支援そして今後の防災対策」(8月27日)
- ・パートナーセッション 2011「アピオあおもり秋まつり」で、岩手県の生産者支援を行うとともに、石井布紀子特定非営利活動法人さくらネット代表の基調講演「災害に強い地域づくり～東日本大震災復興・復興支援を通して」を開催(11月5日)
- ・内閣府男女共同参画アドバイザー派遣事業 DV 被害者支援相談員対象講座「東日本大震災後の女性被災者支援について」(11月22日)

【その他】

- ・被災地における女性支援のためのセミナー(盛岡市)に、職員、相談員参加(5月22日)
- ・内閣府主催「東日本大震災復興に向けてのシンポジウム IN 宮城」に、職員参加(6月28日)
- ・人材育成講座「あおもりウイメンズアカデミー」オプション講座として、青森県消費者協会主催「震災復興応援ツアー～食べて応援！買って応援！旅して応援！」に参加(7月26日)

岩手県男女共同参画センター

【避難所支援】

- ・編み物をしながらまたはお茶を飲みながら等話しやすい環境づくりを工夫し、様々なお話をうかがう場を提供することを検討中

【支援物資の提供】

- ・Tシャツ、日用品、化粧品等、他県から寄せられた物資を含め、現地に赴き提供。今後も必要な物資をリサーチし、提供予定

【情報収集・提供】

- ・被災地に赴き、現地のサポーターや役場職員から情報を収集、今後も継続

【相談窓口の開設】

- ・震災の影響による相談、被災地の方からの相談に対応、今後も継続

【講座・セミナー等】

- ・「東日本大震災復興シンポジウム in 岩手」(10月22日)

【チャリティー・イベント】

- ・いわて県民情報交流センター(アイーナ)入居の他施設と協働し、アイーナ復興バザーに販売物品を提供。ボランティアとしても参加(6月19日、7月24日、10月22日)

もりおか女性センター

【募金活動】

- ・ホームページ上に支援金の募金をアップ

【避難所支援】

- ・県内の避難所を訪問。被災者の方々から津波のことや悩み、問題などを傾聴。また、ハンドマップサージをしながら話を聞く

<p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NGO、NPO、企業、女性団体、個人などから届けてもらった物資を避難所や個人に配達。在庫のない物資については、支援金(寄付金)で購入し配達 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに入る女性たち及び避難所等で活動する女性たちへ、被害にあわないためのチラシを配布。このチラシは岩手県関連機関や避難所等にも掲示 <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府・岩手県・盛岡市(もりおか女性センター)・社団法人日本助産師会岩手県支部・いわて生活共同組合などの協働で、被災地の女性たちの心のケアを目的に、女性の心のケアホットラインと、宮古市と盛岡市での現地相談会を実施(第3次補正予算で年度末まで延長予定) <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2007年度から毎年開催 <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もりおか女性センターフェスティバルでチャリティーコンサートを開催(10月) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「盛岡市緊急雇用創出事業」(厚生労働省)を実施 <p>被災した沿岸部の3市町村(野田村・宮古市・大槌町)9人と盛岡市内1人の女性を雇用し、仮設住宅を巡回し、買い物代行と安否確認を行う事業。本事業は今年度内ということになっているが、次年度からはそれぞれが自立してもらおうための助走と考え、女性の起業へと進展させていきたいと考えている。</p>
<p>宮城県婦人会館 プランドゥ</p>
<p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国女性会館協議会助成によるシンポジウム「災害・復興～女性の参画と視点を重視したネットワークづくりを」を開催(9月17日) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県地域婦人団体連絡協議会が実施した支援物資の配布に当たり、物資の保管、搬送の施設、人員の提供を実施
<p>仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台</p>
<p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんたくネットによる洗濯代行ボランティア事業(4月17日～) <p>せんたくネット(せんだいの女性たちが被災女性の本音をたくさんくみ取って一緒に解決していくネットワーク)を立ち上げ、避難所で生活する女性たちの下着等の洗濯物を預かり、家庭の洗濯機で洗って届けるサービスを実施。洗濯ボランティアは女性限定とし、ホームページ等で公募した。洗濯以外の被災女性のニーズの掘り起こしにも努めるとともに、何かボランティアをしたいという女性たちのニーズにも対応。連携・協働先:南三陸ホテル観洋、特定非営利活動法人イコールネット仙台など</p> <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジャーとサニタリーショーツを届けよう!プロジェクトの実施(5月～6月)

せんたくネットの一環として実施。避難所の女性の下着が足りないというニーズをもとに、自分がほしい・使いたいと思える下着の提供をホームページ等で呼びかけ、集まった下着を避難所に届けた。

【情報収集・提供】

- ・復興ポータルサイトの開設(3月26日～)

「被災したわたしたちが今、ここをのりきるために」をテーマに、相談窓口や生活関連情報、災害と女性に関する情報等を提供。現在は「わたしのペースでゆっくりと」にテーマを変更し、ブログ形式で女性に寄り添った情報を発信。

- ・こころと暮らしの立ち直りを支援するスペースの開設(4月5日～6月12日)

エル・ソーラ仙台の市民交流スペース、図書資料ラウンジを臨時開館し、震災に関する新聞切り抜きを掲示したり、暮らしに関する様々な情報を提供。震災により様々な傷つきを抱えた人など、だれにでもゆっくりと過ごしてもらえるような場の運営を心がけた。連携・協働先:特定非営利活動法人イコールネット仙台、財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団。

【相談窓口の開設】

- ・女性の悩み災害緊急ダイヤル(3月29日～7月23日)

震災に伴う様々な女性の悩みにエル・ソーラ仙台の女性相談員とハーティ仙台スタッフが対応。連携・協働先:仙台女性への暴力防止センターハーティ仙台。

【講座・セミナー等】

- ・女性のエンパワーメントシリーズ「『わたしをいたわる』からはじめよう」(5月～)

メイク、小物作り、からだほぐし等を通じて、震災により傷つきを抱えた女性たちに自分自身をいたわる場を提供した。また、シングルマザー、ワーキングマザー、ガールズ(シングルの女性)と対象を分け、カフェ形式の語り合いの場を設けた。震災前に予定していたガールズの「ゆる～りしごと準備講座」の内容を変更して行った。

- ・子育てママのこころの手当て(6月)

震災によって平常時よりさらに、子どもや家族のケアに追われているであろう子育て中の女性(未就学児の子どもをもつ女性)に向けて、語り合いやベビーマッサージ、からだほぐしなど自分自身のケアに焦点をあてた講座を実施。震災前に予定していた子育てママのジェンダー・スタディーズの内容を変更して行った。

【チャリティー・イベント】

- ・MDG ガールズプロジェクト(6月～)

震災で傷ついた女子中高生たちのピアサポートを目的として、宮城学院女子大学(=M)とドレメファッション芸術専門学校(=D)の女子学生(=G)有志と立ち上げたプロジェクト。ガールズからガールズへプレゼントしよう!というテーマで、ホームページやメディアを通じて、ティーンズ向けのプレゼントの提供を呼びかけた。また、メイクや小物作り、ファッションショーなど10代の女子が楽しめるイベント「ティーンズの女子会」を企画・実施し、集まったプレゼントを配布した。連携・協働先:学校法人支倉学園ドレメファッション芸術専門学校など。

【その他】

- ・仙台市の応援業務として、災害時緊急電話相談対応(3月中旬～下旬)、市民センター避難所

応援業務(5月下旬～6月中旬)、応急仮設住宅関係事務補助(6月下旬～)

《事業を行う上で意識したことなど》

今回の震災は広範囲にわたるもので、被害も甚大であった。支援を行う側のセンター職員も被災者であり、突然起こった出来事にそれぞれ傷つきを抱えていた。メディアでは1つになろう、前向きにがんばろうというメッセージが多く流されていたが、わたしたちは辛い気持ちを無理に封じ込めたり、前を向くこと・がんばることを強要したりせず、一人ひとりの気持ちに寄り添った支援をしていくことをめざした。何か自分にできることをしたいという女性も多くいるなか、その女性たちに向けて洗濯ボランティアや物品の提供など自分のペースでできる支援を呼びかけ、賛同してもらうことができた。職員をはじめとして、支援することを通じて自分自身が癒されたり、エンパワーメントしていくことを感じられた。

福島県男女共生センター 女と男の未来館

【避難所支援】

・避難所(ビッグパレットふくしま:郡山市)に設置されている女性専用スペースの運営支援
安心してくつろげる場の提供、女性専用スペースPR活動、女性の安全確保のための取組み、女性のための物資等の提供、ストレス解消のための楽しめる場の提供、他機関・ボランティアへの場所の提供

【支援物資の提供】

・当センターのボランティアが中心となり、センター内にリサイクルコーナーを設置。被災者に衣類や食器などを提供

【情報収集・提供】

・情報紙等の提供

福島県災害対策本部作成の「福島県からのお知らせ」、福島県社会福祉協議会作成の「はあとふる・ふくしま」等を館内に置き、被災者への情報提供を行っている。

・ホームページによる被災者向け事業の周知

【講座・セミナー等】

・男女共同参画基礎講座(福島大学と連携講座)「ジェンダーを考える」(5月13日～7月22日)実施

毎週金曜日。東日本大震災の被災者支援の観点から「災害とジェンダー」を共通のテーマとして、災害と女性、被災者のこころのケアなどの話題について取り上げる(全11回)。

・ボランティアセミナー「被災者支援のためのメンタルヘルスケア」実施 講師:梅宮れいか福島学院大学准教授

・女性専用スペースの支援スタッフ情報交換・研修会「支援スタッフ自身のメンタルヘルスの保ち方」実施

【その他】

・スクリーニング場所としてセンター施設を提供

・原発30km圏内の地方自治体(浪江町)にセンター施設を提供

・センターの宿泊施設を二次避難者用に提供

・福島県看護協会主催看護職の就職相談会の広報支援(2011年度男女共生を進めるための

<p>県民企画応援事業活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の自立を支援する会“ホットカフェ”への協力 毎週土曜日、13時～16時、場所 緑ヶ丘地区仮説住宅集会所。 ・被災者への内職のあっせん
<p>茨城県女性プラザ レイクエコー</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内フロントに募金箱を設置。ボランティア団体の研修会や主催事業の講演会等で呼びかけを実施(3月～5月) ・フェスティバル事業での募金の実施予定(10月) <p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災当日、緊急避難所として対応。10名ほどの避難者あり <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業「子育て世代の応援講座」で「子どもの支援学～震災後の子どもの心のケア」講師：小林明子静岡大学准教授(5月)。対象：PTA や一般
<p>日立市女性センター らぼーるひたち</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災義援金(日立市へ寄付)(4月2日～) <p>《課題等》東日本大震災においては、日立市民も大変な被害を被っているなかで、「義援金箱」はどこに行っても設置されていた。被災者として日立市からの支援を受けるために申請する一方で、他者のために義援金を協力する。つまり、被災者が被災者を支援・協力していたのが現実であったので、手軽に寄付できる機会があることの利点と、義援金箱の多さに対する麻痺した感覚が多少生まれたこと。</p> <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供のために掲示、声かけなど(震災直後～) <p>《課題等》断水が続いたので、あそこで井戸水を分けてくれる、あそこにお店が開いた、電池が売られていたという細やかな生活情報は大変貴重。センターでは、口伝えの情報のつなぎをしていたが、伝えることのできる範囲は限られていた。必要な方にどう伝えるか課題が残った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル及び情報提供(8月～) <p>連携・協働先：茨城大学、日立市女性センター友の会。《課題等》ホームページのリニューアルをするにあたり、震災に対する情報を織り込んだページ作りを急いでいたが、連携・協働先の茨城大学や学生もまた被災しており、リニューアルのアップが予定通りに進まなかった。</p> <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談(3月22日～)、面接相談(4月1日～) <p>《課題等》電話相談だけでも再開したことはホームページだけの広報になっていたもので、本当に相談したかった相談者には伝わらなかっただろうと思う。今後は、必要な方にいかに広報するかが課題。</p> <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性センター祭り2011(10月15、16日) </p>

女性センター祭り 2011 における各発表の取組み及び収益金の一部義援金へ寄付。連携・協働先：女性センター祭り実行委員会。

《課題等》人が集まるイベントで、最大限の安全面を重視し、できる範囲の復興イベントにする。

埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま

【募金活動】

・全国女性会館協議会が実施した「東日本大震災女性センターネットワーク募金」事業に参加し、受付に募金箱を設置

【避難所支援】

・センター内での避難所支援

さいたまスーパーアリーナ(3月16日～3月31日)避難所期間中、近隣施設として、ライブラリーから絵本や雑誌を提供する、避難所内の女性支援スペースに県内相談機関の案内チラシを設置するなどの支援を行った。

・相談窓口一覧チラシ配布

4月以降は、いくつかの県内避難所に With You さいたまの相談リーフレットや県内相談窓口一覧のチラシなどを配布して回った。

・レスパイトケア事業

8月には、With You さいたま さいがい・つながりカフェ実行委員会との共催で、旧騎西高校に滞在中の福島県双葉町の女性たちを国立女性教育会館に案内するレスパイトケア(リフレッシュのための休息)事業を実施。

【支援物資の提供】

・With You さいたまでのシャワーサービス実施期間中は、ボランティアの方による自主的な物資(子ども服、おもちゃ、大人用下着、洋服、粉ミルク等)の提供を実施

【情報収集・提供】

・県内での災害支援や、女性と災害等に関する情報を集め、ホームページ、広報紙等を通じた情報発信

【相談窓口の開設】

・通常行っている相談事業(一般相談、お仕事相談)を県内滞在中の被災者の方にも利用可能であることをホームページ、チラシ等を通じて広報

【「震災と女性」に関する講座やセミナー】

・平成 23 年度男女共同参画週間講演会 講師：辛淑玉さん「災害でみえてきたこと～阪神淡路大震災から東日本大震災の中で」を実施(7月3日)

・埼玉学園大学・川口短期大学共催講座「災害と女性」実施(10月22日～4回連続講座)

・埼玉大学共催講座「ポスト 3.11 を生きる！何ができるか 何をすべきか」実施(10月8日～4回連続講座)

・女性からの政策提言講座「女性たちよ、この社会の羅針盤になろう！～男女共同参画の視点からの地域の災害・防災への政策提言～」の実施(11月13日～)

県内3地域でグループまあるい企画・運営、埼玉県男女共同参画課主催、With You さいたま、所沢

市男女共同参画推進センター、熊谷市男女共同参画推進センター、越谷市男女共同参画支援センター共催講座。

・そのほか、県内男女共同参画担当職員研修や、県男女共同参画アドバイザー講座で災害・防災をテーマで取り上げるなど、関連講座を多数実施

【チャリティー・イベント】

・シャワーサービスの提供

さいたまスーパーアリーナ(3月16日～3月31日)避難所期間中、約2週間で1,200人の被災者の方へのシャワーサービスをボランティアの方とともに実施。また、期間中は、シャワーサービスのほかに、幼児対象の絵本の読み聞かせ、ストレッチ体操、休憩場所の提供等も行った。

・With You さいたま さいがい・つながりカフェ

9月から、来年3月までの予定で、「With You さいたま さいがい・つながりカフェ」を実行委員会形式で実施。現在までに、県内避難者の方、近隣県に避難されてきている方、県内で災害支援活動にあたっている方、県内であらたに放射能の子どもへの影響等についての集いの場をつくりはじめたグループの方などが集い交流を進めている。また、12月には、福島で女性支援に当たっている女性をまねき、福島の女性と埼玉に避難してきている方との交流会などの事業も予定している。

越谷市男女共同参画センター ほっと越谷

【募金活動】

・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」(6月25日)

【情報収集・提供】

・ブックフェア「女性と災害」(3月)

【チャリティー・イベント】

・七夕プレフェスタで「女性と災害」のブースを設けたパネル展示、DVD上映ほか(6月25日)

【その他】

・「災害・復興と男女共同参画 6.11 シンポ」実行委員会に参加

ちば県民共生センター

【講座・セミナー等】

・講演会「女性の視点でとらえる大震災～大切な人を守る防災・減災～」講師：国崎信江危機管理アドバイザー(6月12日)

佐倉市男女平等参画推進センター

【募金活動】

・センターカウンターに募金箱を設置(震災直後～)

・登録団体との市民共同事業イベントとして市民に募金を呼びかけ(男女共同参画週間中)

【情報収集・提供】

・内閣府からの通知等を参考に、情報を収集し、館内に「災害と女性」の掲示を実施

【講座・セミナー等】

・男女平等参画講演会のイベントで仙台八軒中学校の支援CDの曲をコーラスで歌うことを学校と企画(11月)

<p>・職員の研修時のテーマとして、災害と女性を取り上げて実施</p> <p>【その他】</p> <p>・被災地の方々へのお見舞いと復興支援のパープルリボンキルトを作成、展示 男女共同参画週間中の募金活動とパープルリボンキルトの展示は、市の広報番組の取材を受けた。</p>
<p>主婦会館 プラザエフ</p>
<p>【募金活動】</p> <p>・レストランエフに来店されたお客様を対象に募金を行い、日本赤十字社に寄付(4 月半ば～5 月末)</p> <p>【支援物資の提供】</p> <p>・女性と子どもたちが必要としている物資を被災地(宮城県)に提供(4月)</p> <p>【相談窓口の開設】</p> <p>・主婦会館クリニックにおいて「妊婦さんと赤ちゃんのための放射能緊急相談室」を開設、毎週火曜日に 1 回 30 分(実質約 1 時間)無料で妊婦さんや小さいお子さんをもつ方を対象に実施(4 月～)</p> <p>【チャリティー・イベント】</p> <p>・夏野菜バザーを放射線分析装置購入のキャンペのために開催</p>
<p>女性就業支援センター</p>
<p>【支援物資の提供】</p> <p>・ファミリーサポートセンターのネットワーク事業を行っている関係で、全国のファミリーサポートセンターに呼びかけ、被災地のファミリーサポートセンターへおもちゃ、文房具など子育て、保育に必要な物資の支援を実施(4 月～)</p> <p>【その他】</p> <p>・女性就業支援センターにおける事業の一環として、被災地における女性就業支援に関する講師派遣を行った。(例)相談員研修など</p>
<p>日本女子会館</p>
<p>【情報収集・提供】</p> <p>・財団ホームページのトップページに「災害と女性センター」のサイトをリンク(4 月～)</p> <p>・財団発行の月刊誌「ウィラーン」5 月号で被災者支援のための情報を提供(以後随時提供)</p> <p>・月刊誌「ウィラーン」7 月号で「被災地支援と男女共同参画」をテーマとした特集を組み、被災地域の男女共同参画センター等に無料配布(7 月 1 日発行)</p> <p>【その他】</p> <p>・「災害・復興と男女共同参画 6.11 シンポ」実行委員会に参加</p> <p>・被災地支援者のエンパワーメントに関する調査研究(5 月～2012 年 3 月)</p> <p>《趣旨》災害とジェンダーに関する研究では、女性はより災害のリスクを受けることが明らかになっている。今回の震災においても生活物資の配分等、避難生活への援助の在り方に女性の視点が欠落していることや女性が性暴力の被害者になる危険性などが指摘されており、女性に焦点を当てた支援は緊急の課題である。そこで、緊急の直接支援として(1)被災地における支援活動への寄付を実施</p>

するとともに、長期にわたる復興支援として当財団の学習支援の専門性を生かし、(2)子ども・女性に視点をあて被災地支援者のケアとエンパワメントのための調査研究を行う。なお、本研究は、特定非営利活動法人参画プランニング・いわて、早稲田大学等と連携して実施する。

《実施内容》(1)被災地支援活動への寄付:被災地支援を実施している男女共同参画センター等へ寄付、(2)被災地支援者のケアとエンパワメントのための調査研究:当財団で実績のある学習支援の専門性を生かした後方支援の一環として、女性に視点を当てた被災地支援者のケアとエンパワメントのための調査研究を行う。具体的には、現地や避難先で被災者支援に関わった女性センター、NPO スタッフ、女性団体・グループ等の体験を聴く交流勉強会・ヒアリング、支援者支援に関するシンポジウム等を実施する。自身の経験を振りかえり、語ることは、対人援助職のネットワーク構築と力量形成の方法として高く評価されている。経験の省察は、実践のありかたを発見し、活動経験の共有をする効果が確認されている。また話を聴いてもらうことは、災害という非日常を経験した支援者が日常生活を取り戻し次の活動に向かう助けともなる。さらに次年度には、報告書を作成し、成果を公表していく予定である。

《実施計画》(1)交流勉強会(4回)子どもと女性支援をテーマに、支援活動の体験と情報を共有、(2)ヒアリング(4か所)支援活動にかかわる女性センター、NPO、女性団体・グループ等を対象に実施、(3)シンポジウム・交流会支援活動にかかわる女性センタースタッフなど招いて、支援者支援をテーマに開催。

全国婦人会館

【講座・セミナー等】

・「防災リーダー養成研修会」全国地域婦人団体連絡協議会と共催(9月2日)

婦選会館

【募金活動】

・募金箱の設置(3月17日～5月13日)収集金は特定非営利活動法人参画プランニング・いわてへ寄付

【情報収集・提供】

・「女性展望」へ記事掲載

4月号:緊急提言「東日本巨大地震後の課題—男女共同参画社会を基本に」、5月号:座談会「東日本大震災を語る 地震・津波・原発事故と私達の危機管理」、6月号:第17回統一地方選挙特集④「被災県や原発立地自治体で女性候補は『防災』をどう訴えたか」、7月号:座談会「東日本大震災で隠れた女性問題—社会保障、DV、民法改正、女性労働など」、8月号:特集「エネルギー問題と弱者」、9月号:特集「東電福島第一原発事故から半年—泊・福島・浜岡・伊方・玄海原発のいまを追う」

【講座・セミナー等】

・フォーラム2011 基調講演「民主主義再生への試練—大災害の課題と住民パワー」

千代田区男女共同参画センター MIW(ミュウ)

【情報収集・提供】

・「災害と女性」をテーマに区の防災マップや「ヨコハマわたしの防災力ノート」などを展示

・広報紙「MIW通信」No. 29で震災・防災に活かす女性の視点・子どもの声の特集

<ul style="list-style-type: none"> ・被災者に対して当センターの相談室や講座などを紹介
<p>大田区男女平等推進センター エセナおおた</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」実施 募金を告知し、事業においてチラシ配布、センター内で募金。特定非営利活動法人男女共同参画おおたから寄付を実施。 ・「エセナフォーラム」で支援箱を用意し、もりおか女性センターのデリバリーケアへカンパ <p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田区被災地支援ボランティア調整センター運営委員会に参加 大田区内に避難している方々を招待し、毎月被災者交流会を企画、実施。エセナおおたの事業への参加等をPR。MICS おおたにおいて懇談会(5月)、蒲田温泉において入浴、大田区寿司組合よりの昼食提供、区内音楽家の演奏など(6月)、はとバス2台で羽田空港見学、はとバス会社見学(7月)、平和の祭典への参加(8月)。 <p>【ボランティアの派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記運営委員会へ会員がボランティア参加。相談会にセンターの相談員がボランティア参加 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の切り抜きや被災した場合の安全対策等センター内に特別に掲示 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エセナフォーラム」で「いのちを守る地震・災害～子ども・女性が安心できる場を～」と題し講談及びシンポジウムを開催 1部: 講談師の神田織音さんとともにシナリオを作成し、女性の視点を入れた震災に関する講談を開催、2部: 田端八重子もりおか女性センター長からの避難所の状況および必要な支援等の報告、3部: 大田区の取組みを報告 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災関係のチラシに関する無料アドバイスもしくはチラシの訂正を実施 ・大田区主催「平和の祭典」(多摩川河川敷グランドにて実施)に参加。子ども交流コーナーを担当。子ども約200人参加
<p>府中市女性センター スクエア 21</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付に募金箱を設置している。集まった義援金は日本赤十字社へ寄付 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害～正しい情報があなたのいのちを守る～(9月14日) ・震災と被害と支援制度～もしあなたが災害にあったら...(11月5日)
<p>多摩市立TAMA女性センター</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間にあわせ市民による実行委員会主催で開催した「TAMA 女と男がともに生きるフェスティバル 2011」で募金活動(6月25日、26日)

<p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性センター登録団体企画講座として、災害時における女性問題をテーマにした講座を開催予定(12月～2012年3月) ・TAMA 女性センター市民運営委員会企画の女性学連続学習会のテーマの1つとして災害とジェンダーの内容で講座を開催予定(10月22日)
<p>神奈川県立かながわ女性センター</p>
<p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県安全防災局が実施する被災者受入れ支援のための避難所として、多目的室(大)を提供(～2012年度末予定) <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参画活動推進事業として「女性の目で見える防災・女性の防災活動への参加の促進～避難所運営を中心に～」講座開催。主催かながわ女性センター、特定非営利活動法人かながわ女性会議(10月9日)
<p>男女共同参画センター横浜 フォーラム</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市及び財団法人日本ユニセフ協会神奈川県支部の募金箱を設置 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害と女性をテーマに、有識者に推薦本を選んでいただき、メッセージとともに展示を予定 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「辛淑玉的これからの生きのび方～災害から見えてきたこと」セミナー実施予定(10月30日) ・女性に対する暴力防止啓発イベントのなかで震災時の女性に対する暴力と相談内容等について取り上げる予定(11月10日) ・災害時における男女共同参画センターの役割をテーマに、シンポジウムを開催予定(2012年2月29日) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の女性相談窓口マニュアルを作成予定 ・災害・防災と女性調査研究検討会を立ち上げ、災害時における男女共同参画センターの役割に関するインタビュー調査を実施し、報告書作成(6月～2012年3月)
<p>男女共同参画センター横浜南 フォーラム南太田</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市及び財団法人日本ユニセフ協会神奈川県支部の募金箱を設置 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム南太田まつりのテーマを「震災をこえ、世代をこえ、ちがいをこえて」とし、トーク&ライブ企画を実施(10月16日) <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜女性起業家東北 UP チャリティセミナー実行委員会との共催で起業ステージアップセミナーを実施。約20万円を集め、「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募

<p>金」に寄付(5月7日)</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府男女共同参画局「地域における男女共同参画連携支援事業」に応募、採用され、「シニア女性の防災力を生かした地域づくり連携調査研究」を実施(7月～2012年3月) <p>具体的には、災害時におけるシニア女性の行動と意識に関する調査を、横浜市南区在住65歳以上の女性約1,000人を対象に実施。あわせて、男女共同参画における高齢女性対象の事業企画を含めた検討委員会を開催、報告書の作成も行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害・防災と女性」調査研究検討会を立ち上げ、災害時における男女共同参画センターの役割に関するインタビュー調査を実施(6月～10月)
<p>男女共同参画センター横浜北 アートフォーラムあざみ野</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市及び財団法人日本ユニセフ協会神奈川県支部の募金箱を設置 ・全館イベントで出店する模擬店の売上の一部を被災地へ募金(10月23日) <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル「ヨコハマわたしの防災カノート」を一部改訂し、地域出前講座を充実 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てママ発「防災&安心フェア」の開催(9月9日) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害・防災と女性」調査研究検討会を立ち上げ、災害時における男女共同参画センターの役割に関するインタビュー調査を実施(6月～10月)
<p>川崎市男女共同参画センター すくらむ 21</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター窓口に募金箱を設置。日本赤十字社を通じて寄付予定(4月～12月) <p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性被災者への支援として市内避難所へ出前相談会(心と身体の健康相談、女性の悩み全般)と支援物資の提供(保育付)。連携先:市内NPO、医師、保健師、市民ボランティア <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援物資の募集と提供(ボランティアと実施)約5,000点 <p>【ボランティアの派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所閉鎖のため市の担当課と連携し次の支援方法を検討中 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地への支援に行くボランティアへの炊き出し準備のための場所提供。避難者への駐車場の無料提供
<p>新潟県女性センター</p>
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東北地方太平洋沖地震県民募金」及び「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」への協力(3月26日～6月26日)

<p>上越市男女共同参画推進センター ウィズじょうえつ</p> <p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の避難所に避難している被災者に対し、配偶者からの暴力相談及び女性相談窓口等を周知するためのチラシを活用するよう、市災害対策本部に依頼(5月)
<p>長岡市男女平等推進センター ウィルながおか</p> <p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市男女平等推進センター窓口やイベント会場で、被災地の男女共同参画推進センター等を支援するための募金活動(4月1日～12月31日)。活動の主体は、ウィルながおか登録団体である「女たちの震災復興」を長岡から応援する会
<p>富山県民共生センター サンフォルテ</p> <p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」のチラシ配布等協力 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国女性会館協議会第55回全国大会 IN 富山で、パネルディスカッション「災害と男女共同参画センター～その時何が必要か。何ができるか～」を開催予定(10月29日) ・サンフォルテカレッジで、講演会&フリートーク「男女共同参画の視点からの災害復興について」を実施予定(2011年3月3日)。実施グループは、公益財団法人たかおか女性アカデミー
<p>福井県生活学習館 ユー・アイふくい</p> <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の推進のために積極的に行動したい方を対象に、指導者養成講座「男女共同参画と防災・減災・復興」を開催(7月22日)
<p>山梨県立男女共同参画推進センター ぴゅあ総合</p> <p>【避難所支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南相馬より避難している方々へ、時節にあった物資等を館内指示等で呼びかけ、集まったところでNPO代表に渡している(6月～) <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災直後タオル、シーツを支援物資として呼びかけし、被災地等へ直接送った。集まったタオル類がまだ残っているので現在も要望により継続 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座「災害対策に女性の視点を」開催予定(11月5日) <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災チャリティーコンサートの開催
<p>岐阜市女性センター ハートフルスクエアG</p> <p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者を対象とした募金(震災直後～5月) <p>【講座・セミナー等】</p>

<p>・岐阜市女性センターフェスティバルにて、ぎふ発信「しゃべり場 2012」として「これからをどう生きる～震災と原発を通して～」を開催予定(2012年1月29日)</p> <p>内容は、一般市民がお互いの意見を男女共同参画の視点から自由に語り合うというもの。</p>
<p>静岡市女性会館 アイセル 21</p>
<p>【募金活動】</p> <p>・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」募集告知、実施</p> <p>【情報収集・提供】</p> <p>・新聞記事の収集・展示(3月20日～5月29日)。収集は現在も継続中。クリッピングとして閲覧可</p> <p>・関連図書の展示(3月20日～継続中)</p> <p>【講座・セミナー等】</p> <p>・市民対象セミナー「メディアが語らない「災害と女性」～3.11 被災地からの報告～」講師:田端八重子もりおか女性センター長(11月3日)</p>
<p>浜松市男女共同参画推進センター あいホール</p>
<p>【募金活動】</p> <p>・「男女共同参画を推進する講演会」(市民 320 人参加)の際、募金活動。集まった義援金 88,585 円を、日本赤十字社を窓口被災地に送付(3月20日)</p> <p>【支援物資の提供】</p> <p>・センターで支援物資を集め、またセンターの指定管理者である特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会(以下「協会」)からも物資を提供</p> <p>【ボランティアの派遣】</p> <p>・協会の会員数人が「はままつ災害ボランティアねっと」の会員として被災地ボランティアに参加(5月～7月)</p> <p>【情報収集・提供】</p> <p>・被災地ボランティアの報告会を関係者および一般市民に向けて開催。関連の情報を収集し、センターのホームページにも情報を掲載</p> <p>【講座・セミナー等】</p> <p>・「もしもの時の防災力 UP!」と題した防災講座を開催(8月6日)</p> <p>内容は、東海地震で想定される津波被害とその防災対策についての講演と、東日本大震災の被災地ボランティアに参加した会員による男女共同参画の視点からのパネルディスカッション。</p> <p>【チャリティー・イベント】</p> <p>・防災講座に伴う共催イベントで、フリーマーケットを開催</p> <p>【その他】</p> <p>・協会が発起人のメンバーとなり「はままつ災害ボランティアねっと」を設立</p> <p>・防災講座の成果を取りまとめて、浜松市の危機管理監に、東海地震に備える防災計画に役立てていただくべく提言書を、防災月間の9月に提出予定</p>

名古屋市女性会館 イーブネット
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月18日～現在継続中 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地支援に取り組む保健師が語る「震災と女性」を開催予定(2012年3月3日)
名古屋市男女平等参画推進センター つながれっと NAGOYA
<p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人参画プラネット及び「チーム暮らし復興」が協力し、サイトを運営(http://sankakudo.net/) <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしつながる広場」の開設。毎週水曜日
小牧市まなび創造館
<p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府の「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業」を活用し講演会を開催予定(2012年1月) <p>災害時において女性の視点で避難所などの運営委員会や検討委員会に参画し、災害時における情報の共有と男女共同参画の推進を図ることを目的とする。</p>
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター内に募金箱を設置(3月～) ・講演会等の事業や登録団体による活動発表(フレンテまつり)の売り上げからの募金活動(4月～7月) <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内NPOと連携し、生理用品や女性用下着等を集め、物資提供(3月20日頃) <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーに「災害と女性」に関する情報、図書展示を実施(3月～現在) <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画フォーラムのなかで、「災害と女性」に関するワークショップを実施予定(11月12日) ・8月の地域リーダー養成講座で修了生とフレンテみえの連携・協働による「災害と女性」をテーマにした企画を立案。今後実施予定(今年度～次年度) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「母子家庭等の女性のためのパソコン講座」で、県内に避難している女性の受入れ(9月～10月)
滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが
<p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター主催の催しを、県内に避難している被災者に情報提供

被災者は、経済的に厳しい状況にあり、有料の催しへの参加やセンターへの交通費についても配慮が必要。
<p>【相談窓口の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター相談窓口(男女共同参画、家庭問題など)について、被災者に紹介 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター主催講座「地域の実践に向けて～防災の視点から」を開催(8月6日) <p>東日本大震災の支援状況、女性に対する配慮など、自治会、社会福祉協議会、消防署から話題の提供。</p>
滋賀県婦人会館
<p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県婦人会館でチャリティー寄席の開催(4月17日) <p>社会人落語「泉笑会」東近江支部との共催。東日本大震災義援金募集として実施。当日の義援金33,000円を、全国地域婦人団体連絡協議会を通じて寄付。</p>
京都府男女共同参画センター らら京都
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金箱をらら京都実施事業会場に設置。現在は受付カウンターに設置 <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府連合婦人会がネットワークを通じて被災地へ冬物下着類、靴下、手袋、マフラー等を、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用して援助。らら京都も支援 <p>【相談窓口の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設相談とあわせて相談に応じる体制を整えている <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけぼの大学基礎講座を県内3か所で開催 <p>「テーマ:女性の視点で考える防災」京丹后市会場(7月6日)、「テーマ:災害と女性」城陽市会場(7月30日)、福知山市会場(9月4日)。他の事業にも防災意識を盛り込む。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ京都物語プラットフォーム発足会議で、工藤昌代まがりやネット主宰者(岩手県)による「協同体型ショッピングモールの運用」の講義(5月31日) ・後日、被災地からの物品の販売を実施
京都市男女共同参画センター ウィングス京都
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府が行った募金活動に、京都市の関連施設として参加。館内に募金箱を設置 ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」に参加。館内に募金箱を設置。集まった募金は、第2次締め切り分として全国女性会館協議会に届けた
城陽市男女共同参画支援センター ぱれっとJOYO
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城陽市社会福祉協議会の義援金募金箱を設置し、募金活動(3月14日～)

<p>【講座・セミナー】</p> <p>・講座 災害と女性～防災は日常から始まる(7月30日)</p> <p>主催は城陽市男女共同参画支援センター、京都府男女共同参画センター、京都府。講師は正井礼子ウィメンズネット・こうべ代表。</p>
<p>大阪府立男女共同参画・青少年センター ドーンセンター</p>
<p>【募金活動】</p> <p>・来館者、講座参加者およびホームページで義援金を募集</p>
<p>大阪市立男女共同参画センター中央館 クレオ大阪中央</p>
<p>【募金活動】</p> <p>・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」への参加</p> <p>【情報収集・提供】</p> <p>・情報紙「クレオ」春号・夏号にて関連記事を掲載</p> <p>【講座・セミナー等】</p> <p>・震災2011シンポジウム「現場で本当に必要な支援とは～大阪の私たちにできること～」開催(4月20日)</p> <p>《趣旨》本シンポジウムでは、次の視点で被災時や復興段階における支援について考える。男女のニーズの違いに考慮した女性に対する支援のあり方、現地避難所でのニーズ調査を終えたNPOスタッフの報告を踏まえて、被災地・被災者が主役の支援のあり方、大阪市での受入れの現状を踏まえて、今後の大阪における支援のあり方について意見交換を行い、大阪の私たちにできることを進める第一歩とする。</p> <p>《実施結果》参加者は、女性センターや自治体職員、NPO・生協・企業等、その幅広さが際立った。支援活動をすでに行っている方も多かったが、支援者同士の横の連携はなかったため、顔の見える情報交換ができた。「今回のシンポジウムが土台となり、ここからスタートする気がする」との参加者の声に代表されるように、長期にわたる復興支援に向けて大阪の私たちにできることを継続するため連携していくことを確認した。</p> <p>【チャリティー・イベント】</p> <p>・クレオ大阪北「東北復興応援市場」を開催(7月18日)</p> <p>《趣旨》4月20日実施の「震災2011シンポジウム」参加者で「何かせすにはいられない」という熱い想いを共有したネットワークができ、そのネットワークの想いをカタチにする1つとして、東北復興応援市場を開催。</p> <p>《内容》全村避難を余儀なくされた福島県飯館村からは佐野ハツノさんを招いた講演会、写真展をはじめ、岩手・宮城・福島の東北3県の特産物や、団体による出店、1日セミナー、子どもの遊びの広場などを実施。</p> <p>《実施結果》10代から60代まで年齢も経験も様々な実行委員の皆さんとの協働により、多彩な企画が実現し、賑わいのある応援市場となった。「こういう場が地域とのつながり、東北とのつながり、支援に結びついていくのだと感じた」という来場者の感想もあるなど、被災地の現状を知ることで復興のあり方を考え、特産品を買い、生産者を応援する機会となった。</p>

《主催・実行委員等》主催：東北復興応援市場実行委員会、事務局：財団法人大阪市女性協会、実行委員：大阪経済大学ボランティアサークルPEACE、財団法人大阪市女性協会、大阪市女性国際交流グループ OWI、大阪よどがわ市民生活協同組合、女性のための街かど相談室ここ・からサロン、生活デザイン研究所チーム3ミニッツ、株式会社ティプア、東淀川区青少年指導員連絡協議会、東淀川区青少年福祉委員会、特定非営利活動法人プロジェクトILD、プロミス株式会社心斎橋お客様サービスプラザ、阪本宗明、溝上寿子、岡田覚ほか、協力：福島県・宮城県・岩手県大阪事務所、福島県男女共生センター、大阪市地域女性団体協議会。

大阪市立男女共同参画センター東部館 クレオ大阪東

【募金活動】

- ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性ネットワーク募金」への参加

大阪YWCA

【募金活動】

- ・会館受付等で支援金を募ったほか、街頭募金も実施
 - ・落語会等のイベントを行い、収益の一部を震災募金
- 募金は日本YWCAの東日本大震災被災者支援募金へ寄付。

【支援物資の提供】

- ・カレールー30kgを釜石市災害救援センターへ送付
- ・絵本110冊を仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク(東北ヘルプ)へ寄付
- ・文房具を特定非営利活動法人いしのまきNPOセンターへ寄付

【ボランティアの派遣】

- ・宮城県仙台市で活動する仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク(東北ヘルプ)へ、事務局ボランティアの派遣
- ・福島県相馬郡新地町の災害ボランティアセンターへ、ボランティアコーディネーターの派遣

【情報収集・提供】

- ・福島YWCA会長を招いて被災地の現状を共有する会を実施

【講座・セミナー等】

- ・緊急講演会「電気と私たちの未来について考えよう」講師：田中優 を開催
- ・講演会&意見交換会「原発に頼らない明るい未来」講師：海老澤徹 を開催
- ・講演会「スマトラ沖地震津波、中国四川大地震、東日本大地震～緊急支援活動に参加して」講師：打出啓二 を開催
- ・講演会「子育て伴走者の仲間たちへ～東日本大震災の支援活動を通して」講師：渡邊さゆり を開催(9月30日)

【その他】

- ・大阪YWCAが主催する2泊3日の夏キャンプに福島の子どもを招待。福島駅からの送迎も実施

岸和田市立女性センター
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内に募金箱を設置し、来館者に募金の呼びかけ(3月14日～)
とよなか男女共同参画センター すてっぷ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月から日本赤十字社東北関東大地震義援金(当初名)の呼びかけに応じ、貸室受付カウンターに募金箱を設置。期間は9月末日までの予定だが、要請があれば引き続き実施予定 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害とジェンダーのホームページに、財団発行の震災特集の情報誌をリンク ・情報ライブラリー内にて、東日本大震災関連資料のテーマ展を実施(～7月) <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パープルホットライン(電話相談)の拠点として、月1回程度、東日本大震災被災地対応の相談を受付 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災の取組みと被災女性に起こる問題、課題(防災マニュアルの女性の視点注入、会議への参画)をテーマに、「災害と女性」セミナーの開催。提携先:豊中市、登録団体(7月2日、9日) <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協賛事業「絵本の読み聞かせスペシャル～東日本大震災活動支援チャリティー」を実施。「3.11 絵本プロジェクトいわて」へ寄付(8月15日) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とよなか女性防災プロジェクト(内閣府・地域における男女共同参画連携支援事業)で防災ノート・防災キットの企画提案、作成。連携先:豊中市関係各署、学校、PTA(8月～2012年3月)
吹田市立男女共同参画センター デュオ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に募金箱を設置し、館内に案内のチラシを掲示(3月～6月) <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のなかでカンパを募り、支援物資を購入し、岩手の女性関連施設の職員まで届けた <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災時の女性の不利益をテーマに主催講座を開催(7月21日) ・「災害とメディア」についての講演会を開催(9月3日)
神戸市立婦人会館
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうべ市民福祉振興協会が実施する救援物資募金に、神戸市教育委員会事務局が事務局となっている社会教育施設として参加し、募金箱の設置と募金協力チラシの掲示(3月17日～4月15日) ・神戸市社会福祉協議会が実施する災害救援募金に参加(4月16日～9月30日)

尼崎市女性・勤労婦人センター トレピエ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」を実施(4月～6月) <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大災害が起こったときの女性の役割、できること等について講座を開講予定(2012年2月)
三田市まちづくり協働センター
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政窓口に募金箱を設置(常時) <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙「伸びゆくさんだ」5月15日号に関連記事を掲載
広島県女性総合センター エソール広島
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災直後より館内2か所に募金箱を設置。講演会等のイベントの際には募金の呼びかけ <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「震災と女性」に関する情報を随時収集、情報センターに展示 <p>【相談窓口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地からの避難者へ生活上の相談窓口の存在について情報提供 将来への不安等の相談が入ってきている。 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会および「絆」をテーマにした講座の開催 <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマッサージを月1回10分500円で施術。施術料は全額寄付 県内のアロマセラピストの有志で立ち上げたグループ“Gittot Aroma”との関連事業。
山口県婦人教育文化会館 カリエンテ山口
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設の働く婦人の家(山口市)と連携して、募金活動を展開
松山市男女共同参画推進センター コムズ(COMS)
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山市の行う募金活動に協力(3月～)
こうち男女共同参画センター ソーレ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室入り口に共同募金の募金箱を設置(3月～9月) <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災(防災)関連の講座を実施予定(2012年度)
高知県婦人会館
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県婦人会として日本赤十字社や全国地域婦人団体連絡協議会へ送金

北九州市立男女共同参画センター ムーブ
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付窓口に募金箱を設置し、福岡県共同募金会を通じて被災地へ送金。募金箱設置は継続中 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地久美子関西学院大学災害復興制度研究所研究員の論文を情報誌「ムービング」64号、「カティングエッジ」42号に掲載 <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画講座「東日本大震災と災害復興～男女共同参画の視点から日常のまちづくりを」（講師：山地久美子関西学院大学災害復興制度研究所研究員）開催（9月3日） <p>【チャリティー・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムーブフェスタ 2011 のイベント収入およびフリーマーケット場所代の一部を「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」へ寄付の予定
久留米市男女共同参画推進センター
<p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米女性週間記念事業「くるめフォーラム 2011」にて、「東日本大震災の被災者を支援する女性たち～女性の安全への取り組みから学ぶ」をテーマに特別展を開催予定（10月1日～7日）
佐賀県立男女共同参画センター アバンセ
<p>財団法人佐賀県女性と生涯学習財団では、県内の CSO（市民社会組織）団体などとともに「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」に参画し、東日本大震災支援を行っている。</p> <p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターとして、九州・沖縄地区男女共同参画センター等会議参加者への「全国女性会館協議会東日本大震災女性センターネットワーク募金」活動を実施（6月2日、3日） ・財団として、アバンセ会館に義援金・支援金の募金箱を設置（4月12日～） <p>【支援物資の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団として、新品の T シャツ・シーツ等を募り、「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」関係団体を通じて被災地へ送付 <p>【情報収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団として、震災直後の新聞記事を展示する「新聞報道紙面展」を開催。市町等への貸出も実施（4月12日～） <p>【講座・セミナー等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターとして、九州・沖縄地区男女共同参画センター等会議のなかで講演会「防災・災害復興と男女共同参画センターの役割」を開催（6月2日、3日） <p>講師は山地久美子関西学院大学災害復興制度研究所研究員、青木玲子全国女性会館協議会常任理事。また「防災・災害復興～九州・沖縄地区男女共同参画センターでできること」を課題別検討会のテーマとした。</p>

<p>・男女共同参画センターとして、「震災から見えてくる私たちの未来のまちづくり～暮らしと地域産業を守るには」をテーマに、男女共同参画週間記念フォーラムを開催(6月26日)</p> <p>講師は堂本暁子前千葉県知事、潮谷義子前熊本県知事。佐賀県白石町と共催し、白石町で活動している複数の団体の協力を得た。</p> <p>【チャリティー・イベント】</p> <p>財団として、次のイベントを実施。8月6日までの義援金・支援金は累計総額124万円となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルモニア管弦楽団楽員による弦楽四重奏チャリティーミニコンサート開催(4月12日) ・チャリティー佐賀にわか開催(5月7日) ・木原慶吾チャリティーコンサート開催(6月24日) ・チャリティーバザー開催(8月6日) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターとして、現代教養セミナー「大震災発生！～公的支援がくるまでの200時間生き残る知識と智慧」を山村武彦防災・危機管理アドバイザーを講師に開催(7月9日)
鹿児島県婦人会館
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会合時や会館利用者へ呼びかけ、日本赤十字社へ送金
鹿児島市男女共同参画センター サンエールかごしま
<p>【募金活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内に義援金箱を設置(3月～)